

変化発見報告書を 使いこなそう！

～意識する事によって見えてきた事～

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
和合せいれの里 和合愛光園
小澤綾子・水野純子

『取り組んだ課題』

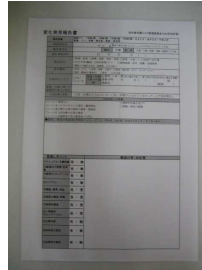
- 利用者さんの日常の中で、危険だと感じる事がある。
- その危険だと感じていた事が事故に発展する事も少なくない。
- 話し合う時間を持ってない、情報を共有出来ていない、統一した対応が出来ていない。
- このままでは、いけないと感じ報告書を活用し、問題を解決しようと取り組み始めました。**

変化発見報告書とは？

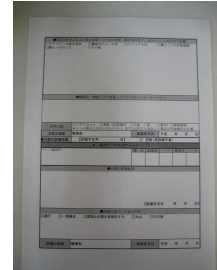
- 一般的にヒヤリ・ハット報告書や事故報告書と呼ばれているものを、私たち事業所では変化発見報告書と呼んでいる。

変化発見報告書(用紙)

●表



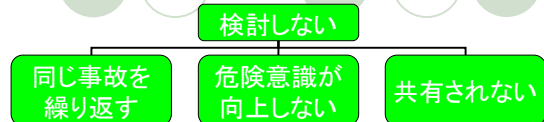
●裏



『取り組んだ課題』

- 利用者さんの日常の中で、危険だと感じる事がある。
- その危険だと感じていた事が事故に発展する事も少なくない。
- 話し合う時間を持ってない、情報を共有出来ていない、統一した対応が出来ていない。
- このままでは、いけないと感じ報告書を活用し、問題を解決しようと取り組み始めた。**

目的



情報の共有ができる体制を築く

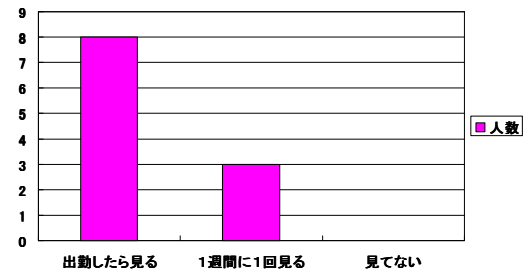
報告書の記入→ 検討→

対策実施→ 評価

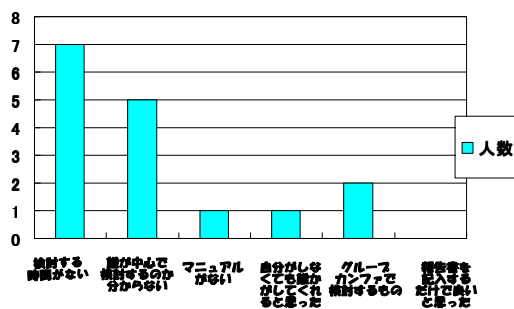
取り組み方法(その①)

- 変化発見報告書について各職員が、どの程度報告書を活用できているのか？
- アンケートを取り意識調査を行なう。
(同アンケート内で、どうすれば報告書を活用できるか意見を貰う)

報告書は、いつ見えていますか？



検討が出来なかった理由



取り組み方法(その②)

- アンケート結果を参考に、ルールや手順を決める。
- 職場に合った方法を明示し実施。

ルール

- 報告書記入後、意見を記入できるようメモを貼る。
- 出勤したら報告書に目を通し、メモに意見を記入。
- 検討前の報告書・評価前の報告書を、それぞれクリアファイルにいれ日誌に挟む。
- 10日以内を目安に検討を行う。
- 13:45～14:00までの時間でカンファレンスを実施。
- 2つのユニット(出勤者)揃ってカンファレンスを実施。
- 検討したら、評価日を決める。

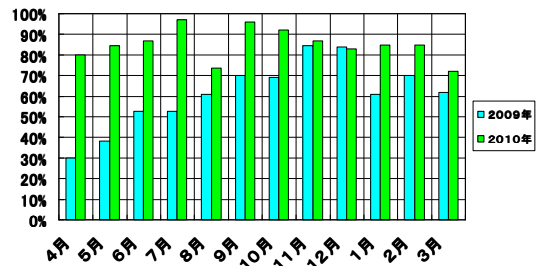
報告書検討中の様子



取り組み方法(その3)

- 7月後半より1ヶ月実施
- 実施後、再度アンケート調査を行い実施前と比べて報告書の活用について意識の変化があったか、どうかを調査する。

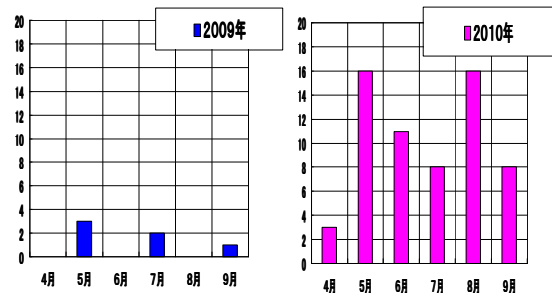
2009・2010年職員サインの%



変化発見報告書 集計

	2009			2010		
	報告書提出	カンファレンス実施	評価実施	報告書提出	カンファレンス実施	評価実施
4月	9	0	0	3	3	3
5月	9	3	0	17	16	16
6月	4	0	0	13	11	10
7月	8	2	0	11	8	11
8月	11	0	0	23	16	21
9月	11	1	0	22	8	22
合計	52	6	0	102	62	83

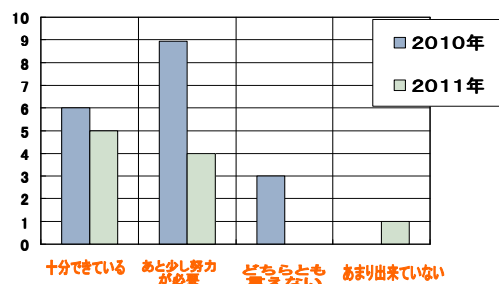
2009・2010年 報告書提出後10日以内にカンファレンス実施件数



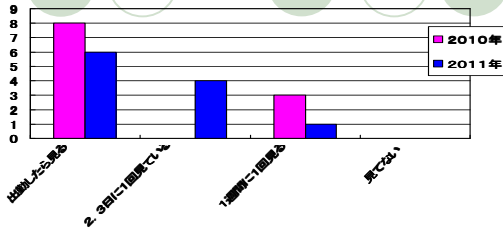
取り組み方法(その④)

- 再度アンケートを取り意識調査を行なう。
(同アンケート内で、ルールを実施してみた意見や改善案を貰う)

検討が十分に行えていますか？



報告書は、いつ見えていますか？

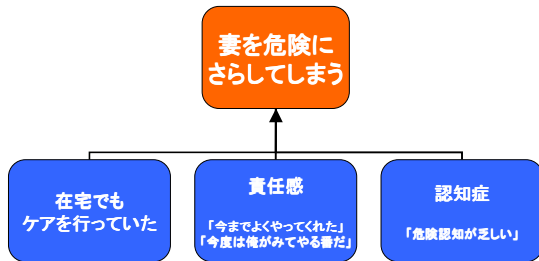


● ルールでも、「出勤したら必ず見る」と決めてあったが3, 4日や一週間に1回見るという回答が半数近くあった。

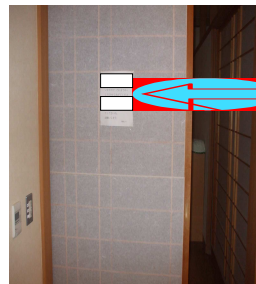
変化発見報告書 集計

	2009				2010			
	報告書提出	お方針の実施	評価実施	職員中心	報告書提出	お方針の実施	評価実施	職員中心
4月	9	0	0	30%	3	3	3	80%
5月	9	3	0	38%	17	16	16	84.6%
6月	4	0	0	52.7%	13	11	10	86.9%
7月	8	2	0	52.7%	11	8	11	86.9%
8月	11	0	0	60.9%	23	16	21	73.8%
9月	11	1	0	70%	22	8	22	96%
10月	9	2	0	60%	13	4	11	92%
11月	15	3	0	84.5%	13	5	9	87%
12月	10	1	0	84%	14	0	14	83%
1月	12	0	0	61%	18	6	12	85%
2月	9	0	0	70%	16	9	13	85%
3月	11	1	0	62%	17	8	9	72%
合計	118	13	0	平均 60.48%	180	94	151	平均 84.35%

要因



入居者様へのお願い文章



〇〇さんへ
 〇〇さんの起床は六時ぐらいを目安に職員が行いますので、それまでゆっくりさせてあげてくださいね(^-^)
 起こす時には〇〇さんに声を掛けるので力を貸してくださいね。
 お願いします。
 職員より

入居者様の居室内 事故防止対策



転倒・転落防止のために、ベッドに吊るしている。



2010年度の区分別

ヒヤリ・ハット報告件数

	転落・転倒	誤飲・誤食 窒息・興奮	誤薬 身業ミス	定刺け 切り傷	行方不明 (離脱)	利用金類 トラブル	建物設備 紛失・盗難 金銭管理	職員の不 適切な対 応・接遇	その他
4月	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5月	2	2	0	0	0	0	0	0	3
6月	3	1	0	0	0	0	0	0	3
7月	1	0	3	0	0	0	0	0	3
8月	5	2	3	1	0	0	0	0	5
9月	7	0	2	0	0	0	0	0	6
10月	4	0	0	0	0	0	1	0	3
11月	2	0	0	0	0	0	0	0	4
12月	3	0	0	0	0	0	0	0	4
1月	6	1	0	0	0	1	1	0	1
2月	4	1	0	0	0	1	0	0	0
3月	1	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	38	7	9	1	0	2	2	0	36

アンケートの結果から

- いつ出来たか分からない、あざ・内出血・小さな皮剥け
- 施設の物品破損
- ブレーキ忘れ、ステップを立てずに立った等、ヒヤリになるが常習性もあり記入できてない
- 飲み物で咽たとき
- どこの範囲からをエスケープと捉えるか

昨年の取り組み前に比べ、報告書の記入に対して意識に変化はありましたか？

- はい 7名 【理由】
 - 「ひやり」だと感じるが増えた。
 - 記入は手間だが、それでも事故が減るならと思うようになった。
 - 以前より意識してヒヤリ・ハットをあげるようにしている。(対策を考えて事故に至らぬように)
 - ちょっとした事でも記入した方が良いと思った。
 - 全体的にも意識は高まったと思うが、だんだんと検討の回数が減ったと思う。自分もなかなか進んで出来なかった。
- いいえ 2名 【理由】
 - 取り組み前から意識しているので、特別に変化はない。
 - 昨年のことが分からない。

活動の成果

- 検討・評価が以前に比べ、より活発に行えるようになった。
- 報告書に対して、より有効な対策をたて実践をする事ができたかと思う。
- ヒヤリ・ハットへの気づきが多くなり、今まで挙げが難かった内容のヒヤリ・ハットの報告書や小さな事故も記録だけで済ませるのではなく、細かい内容の報告書も挙がるようになった。

考察

【 メリット 】

- 事前に個々で確認し、対策案を考える事ができた。
- 検討にかかる時間が、短くなった。
- 報告書へのサインが早く埋まるようになった。
- 机の上にあったので、見やすかった。

考察

【 デメリット 】

- 進んで声を掛ける人が限られていた。
- ルールが出来たが、10日以内に検討できないものもあった。
- 報告書を分類することで、確認する手間が増えた。

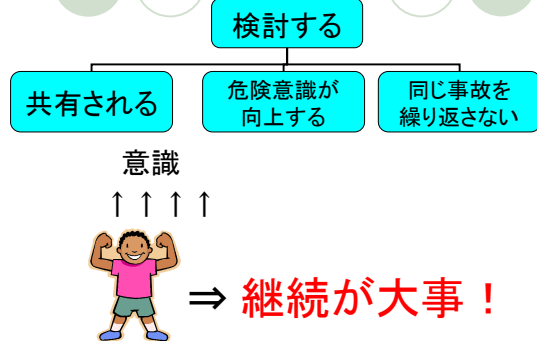
検討・評価についてルールを決めましたが、改善すべき所はありますか？

- 誰かが声を掛けなくても、13:45にはステーションに集まるように1人1人が心掛けて1ケースずつ行っていく必要がある。
- ルールが浸透していない。ルールを守りパソコン入力を忘れずに行う。
- 対策について提案がある場合には直接書き込む。
- 検討・評価時に居ない事が多く、報告書を見ないと分からない事があるので話し合いに参加した人が居なかった人に申し送りをしてくれると良い。

ルール改訂

- 出勤したら報告書に目を通し、対策案に対し意見があれば直接記入する。
- 未検討、未評価、評価済でクリアファイルに分ける
- 午後の申し送り後、14時までの時間でカンファレンスを行う。
- 両方のユニットから集まって行なう。
- 発生後10日以内を目安に検討を行う。
- 検討したら評価日を決める。評価日を昼カンファレンス予定表に記入する。
- 利用者に関わる報告書の検討・評価結果(決定事項)はケア記録に入力する。カンファレンスの場でパソコン入力者を決める。連絡ノートには記入をしない。

今後の課題



ご静聴ありがとうございました